

2026年度 和泉短期大学 シラバス【専攻科】				
授業科目名	介護総合実習Ⅱ		教員氏名	佐藤 美紀／佐久間志保子 中野 志津江
科目ナンバー	IV-8・9・10-1-2			
学年	専攻科		開講学期	後期
授業形態	実習		単位数	5単位
必修・選択	専攻科		実務経験	介護福祉士 社会福祉士 看護師 6年 21年 8年
テーマ	実習Ⅱにおいて専門職に求められる資質、技術及び自己課題を把握し総合的対応能力を学ぶ			
ディプロマ ポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。			○
	2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。			○
	3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。			○
カリキュラム ポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する		
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う		
	科目群Ⅲ 知識・技能	高齢者・障がいのある人を取り巻く環境を知り、様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につけることができる科目		
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う		
授業の概要	実習Ⅱにおける高齢者福祉施設や障害者施設実習を通し、これまで学校で学んだ知識と技術を活用し、個々の利用者に応じた生活支援技術を展開します。看護師や栄養士の様子を見学することで施設における他職種との連携を学びます。また、カンファレンスに参加することで、対象者を中心としたチームアプローチの目的を学びます。さらに、事例研究として一人の対象者の介護過程を展開方法を学びます。			
授業の 到達目標	①利用者の生活の個性・多様性から生じる生活のニーズを述べることができる。			
	②利用者の個性を深めながら介護計画を作成し、ICFの視点に基づいた一連の介護過程を継続的に実施することができる。			
	③利用者の個性に配慮し、障がいレベルに応じたコミュニケーションや生活支援を実施することができる。			
	④チームの一員としての役割や多職種の連携、専門性を記録することができる。			
テキスト	使用しない			
参考書	実習の手引き			
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする			○
	リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する			
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める			
	ICT(-googleクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する			○
その他:				
成績評価方法	区分	割合(%)	内容	
	定期試験・筆記試験	0	実施しない	
	授業内課題・発表等	90	実習先からの実習評価(90%)	
	参加度・学習態度等	10	実習中の状況(巡回指導時の状況を含む)(10%)	
その他				
再試験	行わない	行わない場合の理由	実習という授業形態であるため。	

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	施設概要や利用者の生活の理解をする	
	授業外学習	施設の概要を事後学習する。日誌記入	
第2回	テーマ 内容	施設で生活する利用者の生活を理解する	
	授業外学習	コミュニケーションを図り、利用者の特性を事後学習する。日誌記入	
第3回	テーマ 内容	自立をめざす介護の理解をする	
	授業外学習	事例対象者を定める。後日巡回の教員へ報告相談する。日誌記入	
第4回	テーマ 内容	認知症の方に応じた生活支援技術の基本的な実践	
	授業外学習	日誌記入	
第5回	テーマ 内容	片麻痺のある方への生活支援技術の実践	
	授業外学習	日誌記入	
第6回	テーマ 内容	医務室業務を通して、利用者の健康管理への理解	
	授業外学習	施設での介護と看護の連携を事後学習する。日誌記入	
第7回	テーマ 内容	カンファレンスに参加して多職種連携の理解	
	授業外学習	施設での食事の献立やソフト食、流動食など食事形態を事後学習する。日誌記入	
第8回	テーマ 内容	レクリエーション、クラブ活動への参加	
	授業外学習	アクティビティ活動の事後学習をする。日誌記入	
第9回	テーマ 内容	施設での行事(誕生会・買い物など)への参加	
	授業外学習	施設での行事や地域との連携を事後学習する。日誌記入	

第10回	テーマ 内容	変則勤務形態を体験し、利用者の生活状況を理解	
	授業外学習	変則勤務形態を事後学習する。日誌記入	
第11回	テーマ 内容	一人ひとりに合わせたコミュニケーションを図る	
	授業外学習	コミュニケーションの技法を事後学習する。日誌記入	
第12回	テーマ 内容	介護過程のための利用者の情報収集を実施	
	授業外学習	利用者の情報をアセスメントシートに記入する。日誌記入	
第13回	テーマ 内容	情報収集からアセスメントし、ニーズの抽出	
	授業外学習	実習担当者への相談。アセスメントシート立案。日誌記入	
第14回	テーマ 内容	生活の課題、目標の立案	
	授業外学習	介護過程立案(巡回教員の指導)。日誌記入	
第15回	テーマ 内容	具体的な援助内容を立案	
	授業外学習	介護過程シート記入(実習担当者、巡回教員の指導)。日誌記入	
第16回	テーマ 内容	具体的援助内容に即した支援実施	
	授業外学習	介護過程シートに実施内容を記録。日誌記入	
第17回	テーマ 内容	実施内容への評価	
	授業外学習	介護過程シートに実施内容に対する評価を記入。日誌記入	
第18回	テーマ 内容	夜勤の変則勤務(夕方～0時)での役割を学ぶ	
	授業外学習	夜勤でのナイトケアなどの仕事内容や役割を事後学習する。日誌記入	

第19回	テーマ 内容	夜勤の変則勤務(0時～朝)での役割を学ぶ	
	授業外学習	夜勤での夜間巡回や朝のケアなどの仕事内容や役割を事後学習する。日誌記入	
第20回	テーマ 内容	反省会への参加(巡回教員も参加)	
	授業外学習	反省会記録用紙記入。日誌記入。感想文記入	

課題に対するフィードバックの方法

巡回(4回)での日誌・事例指導、帰校日での指導